



富岡竜一さん(左)の説明に耳を傾ける参加者

知的障害がある人の手をつなぐ育成会(阿市総合福祉会館で、障害のある人の生活費や

# 「親亡き後」の備えは

八戸市手をつなぐ育成会 障害者の将来を考える

親などをつくる八戸市部弘子会長)は13日、  
ある「ライフプラン」を学ぶ勉強会を開いた。会員ら約50人が参加。知的障害や発達障害がある人を対象に保険を扱うぜんち共済(東京)の取締役営業統轄部長の富岡竜一さんが講師を務めた。富岡さんは公的支援制度や私的な備えについて解説。さらに、「親が子どもの面倒を見ることができない時期も必ず来る。その後をどうするかを考えないとならない」と指摘した。プランを考える際には、障害の程度

や、保護者の年齢、経済状況を踏まえることや、ライフステーツに  
よってニーズが変化する点をアドバイスし

亡き後のために、どこに相談すればいいのかを理解できた」と話していた。  
(三浦典子)